

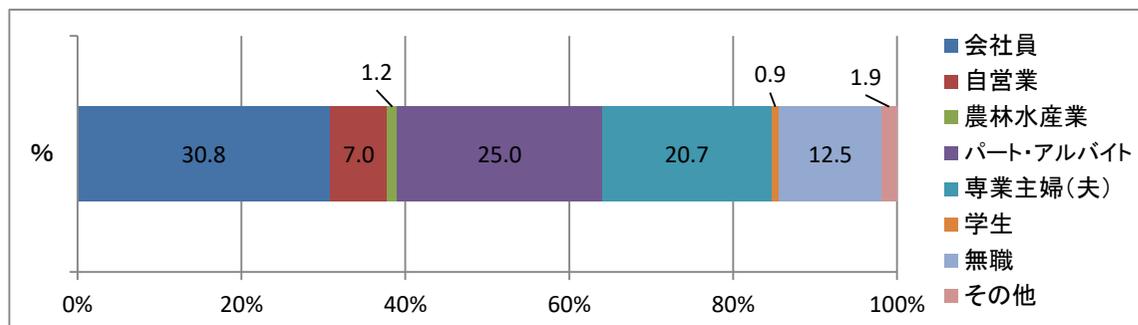
地元消費(Buy Local(バイ ローカル))等について

- 調査期間 令和2年9月28日～令和2年10月9日
- 調査の趣旨 地元消費(Buy Local(バイ ローカル))等について、皆様のご意見をお聞きます。
- 対象者数 816 人(令和2年9月28日現在)
- 回答者数 647 人
- 回答率 79.3 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【職業】

内訳	人数	%
会社員	199	30.8
自営業	45	7.0
農林水産業	8	1.2
パート・アルバイト	162	25.0
専業主婦(夫)	134	20.7
学生	6	0.9
無職	81	12.5
その他	12	1.9
合計	647	100.0



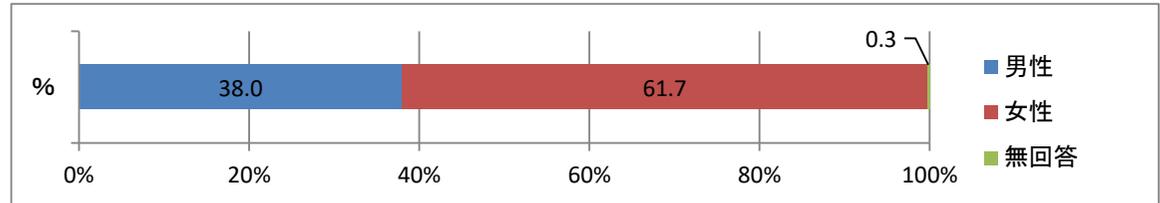
【年齢】

内訳	人数	%
20歳代	27	4.2
30歳代	153	23.6
40歳代	184	28.4
50歳代	127	19.6
60歳代	89	13.8
70歳代	54	8.3
80歳以上	13	2.0
合計	647	99.9



【性別】

内訳	人数	%
男性	246	38.0
女性	399	61.7
無回答	2	0.3
合計	647	100.0

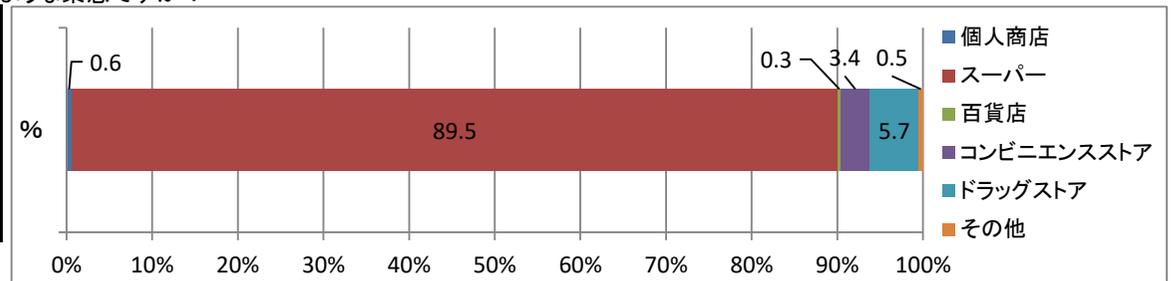


【導入】

Buy Local(バイ ローカル)とは、地元の店舗で買い物しようというキャッチフレーズであり、欧米をはじめ世界の様々な自治体や地域で取り組まれている経済活性化の運動のことをいいます。

【問1】 食料、日用品など日常の買い物で最もよく利用するお店はどのような業態ですか？

内訳	人数	%
個人商店	4	0.6
スーパー	579	89.5
百貨店	2	0.3
コンビニエンスストア	22	3.4
ドラッグストア	37	5.7
その他	3	0.5
合計	647	100.0

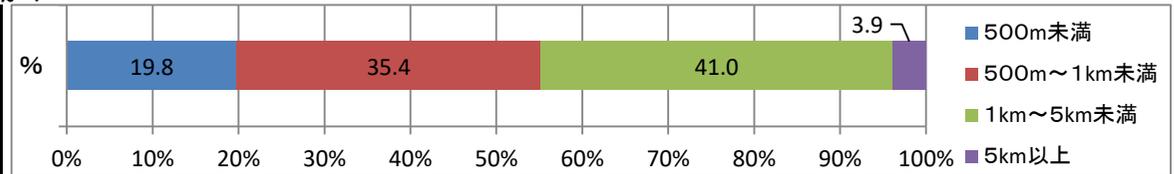


【問1-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(該当者3人)

- 生協
- 生協の戸別配送頼んでいます。
- ホームセンター

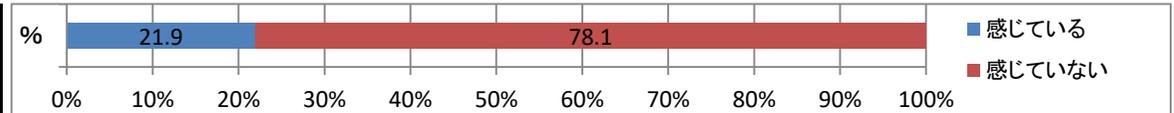
【問2】 最もよく利用するお店は、お住まいからどのくらい離れていますか？

内訳	人数	%
500m未満	128	19.8
500m～1km未満	229	35.4
1km～5km未満	265	41.0
5km以上	25	3.9
合計	647	100.1



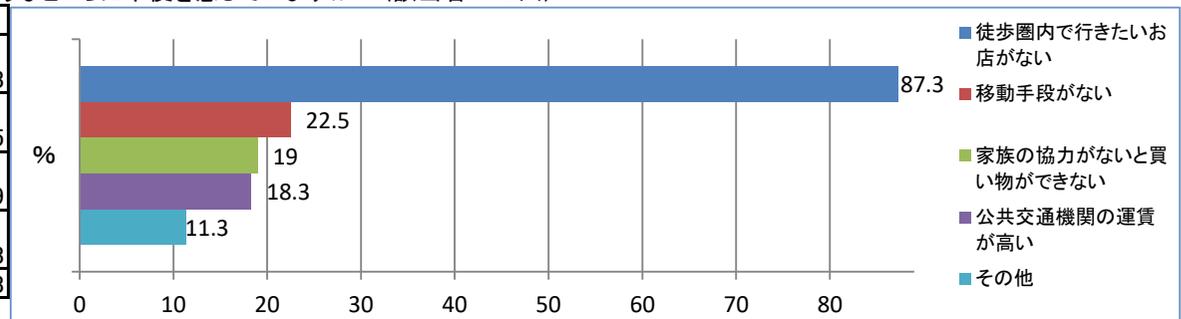
【問3】 日常の買い物に不便を感じていますか？

内訳	人数	%
感じている	142	21.9
感じていない	505	78.1
合計	647	200.1



【問3-1】 問3で「感じている」と回答された方にお聞きします。どのようなところに不便を感じていますか？（該当者142人）

内訳	人数	%
徒歩圏内で行きたいお店がない	124	87.3
車や公共交通機関などの移動手段がない	32	22.5
家族の協力がないと行きたいときに買い物ができない	27	19
バス・電車・タクシーなどの公共交通機関の運賃が高い	26	18.3
その他	16	11.3

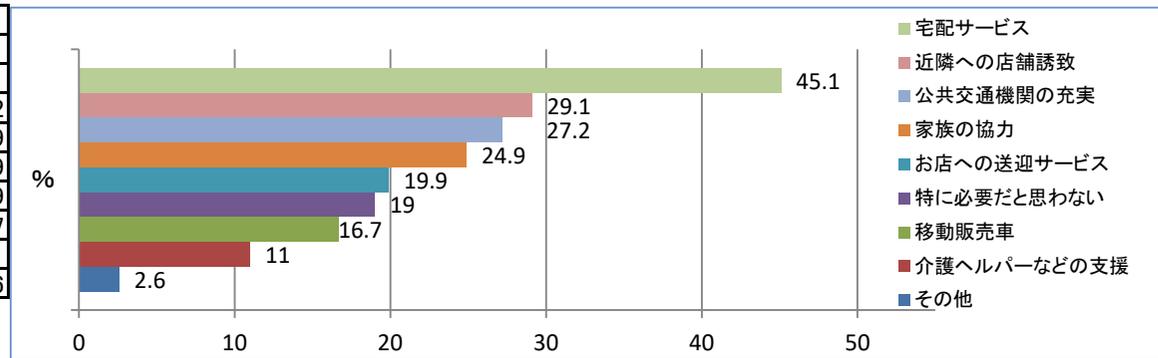


【問3-2】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。（該当者16人）

- 一軒では買い物が進まない。一軒のお店の品揃えが少ない、品質が良い店や良くない店がある。全体にお店が少なく、選択肢が少ない。
- 車は運転するが、もう少し近くにスーパーが欲しい。
- 総合スーパーなど陳列商品が固定化してしまい欲しいものが手に入らない。例えば日本製に拘ると商品がない。
- ①スーパーの宅配サービスが無い店舗で買い物をした場合、大きい荷物を購入した後、家まで運ぶのが大変。②近隣の小さなスーパーだと、ドラッグストアに有るような商品が無いので、一店舗で欲しい商品が手に入りやすく、何店舗も回らなければならない。③家から徒歩圏内の小さなスーパーは地元の人が働いているので、傷んだ食材を購入した時に苦情や返品交換を言い辛い。
- 種類が少ない、海鮮が無い。
- 重たいものが易々と買えない(行き来距離が有るので)。
- 平日仕事帰りに寄りたいが、徒歩圏内に22時頃までやっているお店がない。
- バスの本数が極端に少ない。
- 宅配がもっとあれば嬉しい。
- 家から駅までが遠く、バスもないため出かけるのが億劫になる。仕事が終わるのが遅くなるので開いてるお店がなかったり、開いていても買えるお惣菜などがなくてコンビニになりがち。
- 子供3人連れての買い物が大変。
- 学生の時は賃貸マンションのすぐ近く(徒歩1~5分位)にコンビニやスーパーだけで数店もあったので毎日でも不便を感じなかったが、今は徒歩5分や車・バイクで10~15分程と比較的近くても買い物に行くのが面倒臭いと思う。商品を探したり・選んだり、レジで並んだりお店の人・レジの人とのやり取り・コミュニケーションが面倒臭いというものもあるが、体が不自由な高齢者・障害者でも無い限りそういう不便も楽しめるようにしたいと思っています。
- 値段が高くて、品揃えが悪い。パンの特売日について他のものを買うけれど、その値段が高い。
- コロナの影響で営業時間が短くなった。子供2人、赤ちゃんがいるので、主人に子供らを預けて1人で買い物となると閉まる30分前でギリギリ買い物に行くので不便。
- 袋が有料なので不便。
- 仕事の関係でセール時間に遭遇できない。

【問4】 買い物環境を良くするにはどのようなことが必要だと思いますか？

内訳	人数	%
宅配サービス	292	45.1
近隣への店舗誘致	188	29.1
公共交通機関の充実	176	27.2
家族の協力	161	24.9
お店への送迎サービス	129	19.9
特に必要だと思わない	123	19
移動販売車	108	16.7
介護ヘルパーなどの支援	71	11
その他	17	2.6

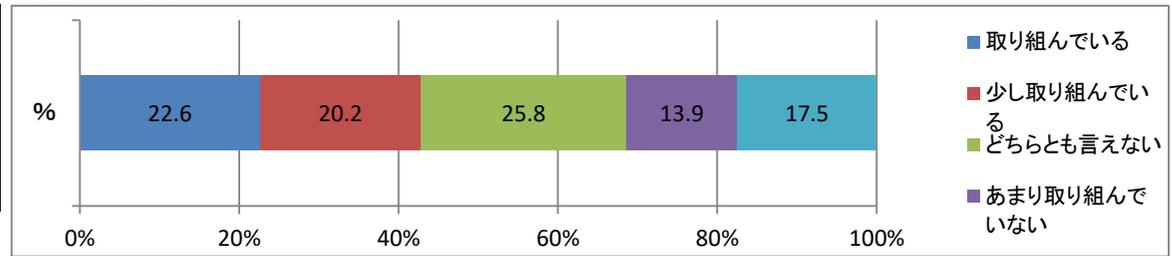


【問4-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(該当者17人)

- 夜遅くまでの営業。
- お店の数を多くする、品質を良くする、品揃えを豊富にするなど。
- 望ましいのは近隣への店舗誘致だが、市街化調整区域だから出店者がいない。コンビニばかりが増え、飲食店やスーパーは徒歩圏内に存在しない。
- 店舗デザインの洗練化等、中小商店の支援。
- 駐車場の充実。
- スマホで手軽に購入できる体制。コロナ禍で支払いですら不安になる。
- 地域の実情に即した品ぞろえの充実。
- 道路(歩道)の整備。
- 駐車場拡大。
- 低料金か無料で市内のスーパーやホームセンター等を循環するバスを普及させて欲しい。以前市役所の方へ嘆願書を出しました。高齢になると、スーパーに行くのも大変です。スーパーだけでなく、その周辺にある役所や駅も停車する様なバスがあれば便利。そんなバスが走ってる地域も市内にある事は知ってます。普及率が低い。
- 地域密着型店舗や個人事業主に補助を行って地域内の商店を復活させていく。
- 店舗の誘致。
- 個人的には、彼女・妻がいれば一緒に買物したり買物してもらえるので、買物環境が良くなると思います(やはり結婚出来たらいいということ)。お店の出口にレジを配置するようしたり、自動精算でまとめ買いできるようにしたら、レジに並んだりお金を出し入れしたりする煩わしさが無くなっていい(スムーズに買物できていい)と思います。宅配サービスもあればいいが、郵便受けみたいに宅配ポストに入れてくれた方がいい(特に歩いて持ち帰るには重くて定期的に購入する必要があるお米や牛乳・トイレペーパーなど)。
- 自転車で転倒してから車の運転も怖くてできなくなった。
- 子供用ショッピングカートの充実。
- レジ袋無料
- 袋の無料化。

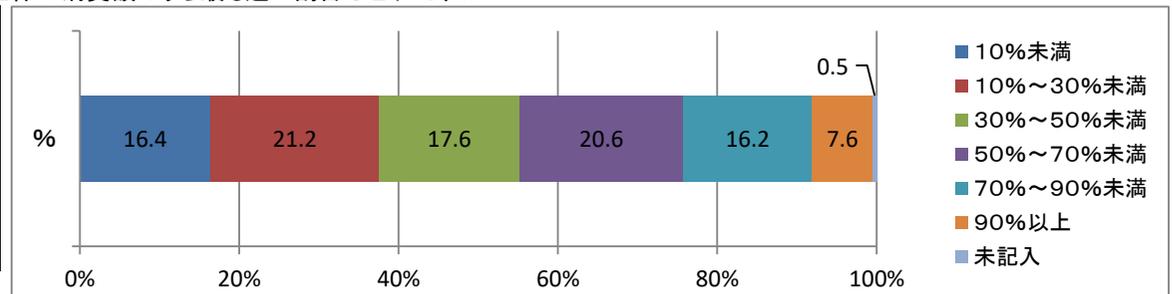
【問5】 日常の買い物で、和歌山市に本社のあるお店で購入するように取り組んでいますか？

内訳	人数	%
取り組んでいる	146	22.6
少し取り組んでいる	131	20.2
どちらとも言えない	167	25.8
あまり取り組んでいない	90	13.9
取り組んでいない	113	17.5
合計	647	100.0



【問6】 日常の買い物で、和歌山市に本社のあるお店での消費額は、全体の消費額のうち最も近い割合はどれですか？

内訳	人数	%
10%未満	106	16.4
10%～30%未満	137	21.2
30%～50%未満	114	17.6
50%～70%未満	133	20.6
70%～90%未満	105	16.2
90%以上	49	7.6
未記入	3	0.5
合計	647	100.1



問7 地元消費(Buy Local(バイ ローカル))等に関するご意見などありましたら、ご記入ください。

- この土地でも良い事です。buy localわかやまは、コロナ状況でテイクアウト等facebookで知りました。助かりました。
- 和歌山市に本社のあるお店は、特定のスーパー以外は高い。
- 内容は何となく理解しており大切だとは思いますが。商店街や個人商店を盛り上げるために、毎週市場のようにいろんなお店が集まる場所があれば、もっとバイローカルは進むと思います。
- 地元消費をしたい、地元消費で十分だと思えるサービスや品物を提供していける地域でもっとあってほしいです。
- できるだけ地産地消や地元企業を応援するようにしているが、買い物のニーズと合わなければ難しい。
- 安く新鮮なので品数が増えるといい。
- スーパーが一定のところには集まっているが、中心部に少なすぎる(和歌山市駅や和歌山駅周辺の地域)。少し考えて増やしてほしい。買い物にいけるところがない。徒歩圏内になく車もないと買い物にいけない。ほんとに困っている。和歌山は地元のスーパーが多いので地元消費多いのではないか。
- 遠くへの買い物は車がないから行けない。四季の郷に道の駅ができたとの事、市内にも作ってほしい。
- スーパー個人商店以外の会社の知名度アップして欲しい。
- 新商品の入荷が遅い、もしくはないあたりがやっぱり和歌山だなと思う。
- まず地方公務員の意識改革から始めてほしい。
- 店舗内に都市銀行ATMが有ると凄く助かるのですが、和歌山は少ないと感じます。和歌山市駅の商業施設で買い物をする際、都市銀行ATMがあれば振り込みも出来るし、時間短縮にもなるし、行く回数の頻度も増すと思います。
- 初めて聞きました。
- 本町地区の居住人口の大幅な減少・高齢化に伴い商業施設も衰退しています。長期のロードマップが必要と思われます。
- 例えば本社が和歌山にあっても、生産者は他府県が大半。よって今回のアンケートの意味合いがよくわかりません。究極のバイローカルは地産地消でしょうが、非現実的です。バイローカル＝国産国内消費なら大賛成です。
- 市長は市産品をもっと採用するように努める。

- 品質とサービスを最優先した取り組みが大切だと思います。
- 高齢者、障害や病気のために遠くまで移動するのが難しい人のために、徒歩数分以内でそれなりの品揃えのあるスーパーに行けるようにしてほしい。現在すでにかかり困っている。
- 地元産の表示を見やすくするなど。
- 値段が高い。お惣菜も少ない。
- 私は極力和歌山で消費したいと思っていますが、価格の面で安く購入できることも望んでいます。個人商店ももっと活気づく努力が必要だと思いますが、個人だけではなかなか難しいとも思い、行政の支援で和歌山を盛り上げてほしいです。
- 和歌山市に本社のあるお店を知らないのだから分かるようにしてほしいです。
- 食品の産地が和歌山かどうかは気にするけれど、和歌山市に本社がある会社かどうかは気にして買い物には行かないです。おいしい惣菜があったり安かったり商品数多かったりすれば行くけど。そもそも和歌山市に本社がある小売店ってそんなにないと思う。
- ユニークな製品や鮮魚や新鮮な農産物の販売促進キャンペーンを頻繁に行って消費を活性化してもらいたい。難しいと思いますが、日常生活で食料品以外に特に欲しいものがない充足した世帯に対して、消費を喚起してこれが欲しい、これをやりたいと思える商品を提供して欲しい。
- 地元商店街振興組合にもっと援助をしてやって欲しい。
- そもそも和歌山市に本社を持っている企業名そのものが明確に分からない。和歌山県周辺に店舗を展開している企業はある程度分かるが。
- 日常の買い物は特に意識することなく、自然と地元消費になっていると思う。
- 常に地産地消を心掛けている。税金を納めている以上。
- フランチャイズは地元消費に該当するのか？また本社はどこにあるのか？と言った広報的な問題もある気がします。
- できる限り地産地消が進められるべきと思うが、購入するもの・価格によっては異なるものを選ぶ必要があるが、それ自体も地元への還元として進められるなら、市町村がもっと主体的にサポートするのが良いのではと思う。
- 地域の店舗で地域のものを買うように努めている。
- 和歌山市に本社のあるお店って分かりづらいです。結局どこですか？
- 和歌山市は元気70パスのような取り組みがあるが、免許返納者に対して特典に感じるものがないので、運転経歴証明証とバイローカルと組み合わせではどうか。
- 地産地消という言葉はよく聞き意識していますが、バイローカルという言葉は初めて聞きました。これからも応援してゆきたいですね。
- 普段、品揃えや価格をもとに店を決めて買い物をしているので、buy localを特に意識していない。
- 安心感、新鮮さ地元の愛着感から購入しています。
- 購入の際、考慮する点は品質価格の順となり後は品揃えだと思います。以上を踏まえ同じレベルであればbuy localは大賛成です。
- 地元消費の重要性について、自治体レベルのみならず、個人としてもメリットが享受できることを、具体例を示して強く訴求すべきだと思います。
- 野菜や生鮮商品などは産地を気にしますが、お店の本社がどこかは気にしたことがなかったです。
- 地元には本社があるお店がありますか？宅配サービスはありますが、地元とか疑問があります。高齢者にとってはいかにも行政の怠慢です。今まで散々大型誘致をしておいて、今頃地元本社の業者が「どうのこうの」は手遅れです。
- 今後20年後は、安いタクシーが必要になると思う。
- buy local も結構ですが、Free Chinaが大事。
- スーパーとかで地元のを並べてくれるのがお買い得で利用しています。
- 地元産ならではの低価格の提供。
- ぶらくり丁や美園商店街に地元ショップを集約したり出来たら、ついで買いが増えるかなと思います。和歌山市の場合今どこも集約できている所がないので、一軒一軒買いに行くと時間がかかってしまう。
- 特定のスーパーはレジ袋くれます。県内消費のためレジ袋は重要です。
- 自治体の補助金制度などを拡充し、地元商品に関する住民の購買意欲向上を図る必要があると思料します。
- 日用品はAmazonで買う事が多くなった。
- 最近地方が本社の大型ドラッグストアやスーパーが増えています。以前から和歌山で消費しようとしていますが、やはり安いとそういう店舗へ行きます。野菜はできるだけ和歌山産を選んでいきます。
- 特定のスーパー1本です。田舎では買い物難民が出始めている。移動販売車・送迎マイクロバス等行政の出番です。

- そもそも人口が少ない→購買客数が増えない→新規誘致できないといった悪循環に陥っているようにみえるので、新規誘致は難しいと思います。和歌山自体が地方車社会の最たるものだと考えますので、郊外型の店舗に特化されており、オリジナリティを出すことも難しく思います。インフラ面が安くなれば実家に戻った若者たちが事業を始めることは多少容易になるかと思しますので、事業が始めやすい環境を市が積極的に準備することが必要かと思します。
- 買い物をする時には、まず価格や品物の品質を優先させていると思います。地元消費を伸ばして行くなれば、その商品に購買意欲が湧くような価値がないと消費に結びつかないと思います。地元と直結しているからこそできる価格設定や、大型スーパーにはできないサービス(個別オーダー式のギフトセット販売、近距離の無料宅配など)など、付加価値が必要だと思います。
- 地元にある店は本社が内外問わず対象にしてほしい。そうしないと対象店舗が不当に価格を釣り上げるため。
- 正直いってあまり意識せずにお買い物しています。でも結果的には100%と言ってもいいほど地元商品を利用しています。安いせいもあるから、フレッシュそうであるからでしょうか。
- 地元のを消費するために、どんなものがあるってどんなものを今買ってほしいのかを知らせてほしい。
- 最近買い物用ビニール袋が有料になり不便を感じる。ビニール袋は燃えるごみを出すのに使っていたため、その分の費用がかさむ。年金生活者にとっては家計を圧迫する。少ない年金から介護保険など天引きされる、やりくりが大変だ。
- スーパーやドラッグストアなどが充実してきた反面、個人商店が衰退しており、私自身も個人商店で買い物する機会が少なくなった。飲食店も含めて和歌山県に本社がない、他府県の業者で消費する機会がほとんどなくなってしまっており、地域の経済にはあまり貢献できていないと感じる。行政の立場からは、もっと地元事業者での消費を喚起するとともに、地元事業者の他府県での業務用の支援にも、より一層注力するべきだと思う。和歌山市は中核都市であるにもかかわらず、行政があまりにも過去30年ぐらいにわたり無関心無頓着であり、長年に尽力してきた他府県他都市とこれから互角に渡り合うのはかなり厳しい。しかしながら、できることは多数あるので、できる限りのことは遅まきながらも注力していこう。
- 常勤のため週末にまとめ買いをするので、安い・便利な方に行ってしまいます。
- 近所にあるスーパーは和歌山市に本社のある店ばかりなので、特に意識していない。
- 大店立地法がすべての元凶です。
- 地元企業のお店で共通で使えるスタンプカードのようなものがあれば、地元消費も増えるのではないかな？
- スーパーより直売所で野菜、花などを買っている事が多い。
- 地元消費について今まであまり意識していませんでしたが、よく考えれば地産地消同様これからのことを考える上で大事なことだと思いました。もっと地元の行政が地方のために力を入れるべきだと思います。
- 地産地消を推進するほど地元消費に繋がると思います。
- 地産地消を心掛けたいです。
- 地元で購入しなければ地元の発展はないと思います。
- 家の周りにスーパーがなくて、車をださないといけない。徒歩圏内につくってほしい。
- あまり和歌山市に本社があるかどうかって所を気にしていなかったのもあるのですが、本店が和歌山にあるかどうかは、一店舗ぐらしか知らなかったです。今も知りません。その辺のアピールがないからでしょうか？私が知らな過ぎるのかもしれないですね。多分両親の世代なら知っているかなと思います。地元のスーパーを応援したいのは確かです。現実には少しでもお財布に優しいスーパーへと足は向きます。
- 問6に関しては体感です。意識して購入するようにはしていますが、実際のパーセンテージはわかりません。
- バイロカルといわれても分かりづらいので、「和歌山市に本社のあるお店で買おう」と具体的に内容が理解できるキャッチコピーにしてほしいです。
- 欲しいものがないので他に行く。
- 和歌山市に本社のあるスーパーの子会社なら買い物はしている。和歌山市は田舎なのに、どうして大阪の様に自転車や徒歩のみで行けるスーパーがないのだろうかと思う。
- 近くの個人商店が無くなりました。魅力ある店作りは難しいと思いますが、有れば買い物をしたいと思います。行政と民間で工夫をして(PFI等)専門店街を小学校区ごとに作れないでしょうか。
- 地元消費者には何か特典を検討して欲しい。
- ポイントと価格の安さ。
- なるべく地元商品を買いたいとは思っているけれど、やはり安い商品にはつい釣られて買ってしまいます。でも買わないと倒産したりするので、難しい所ですね。
- 和歌山市に本社がある店は特定のスーパーを思い浮かびますが、生鮮食品が古く、値段も高いので魅力がありません。仕方なく自家用車で岩出市のスーパーに行ってます。和歌山市で消費したい気持ちがありますが、残念な現状です。
- 和歌山には海の幸が豊富なことから、もっと買いやすく店でも食べやすいと良いのになと思います。
- 新鮮なものを購入できるのが1番だと思います。

- 地元消費の重要性は理解できるが、大手が和歌山に進出して成功し、和歌山にいながらにして大都市圏と同じものを手に入れられることも、和歌山の雇用を守り人工流出を食い止めるためには重要と考えます。大切なのは地元消費の割合ではなく、バランスの取れた住み分けと地元企業の独自性。それがあって初めて自然な地元消費が促されるのではないのでしょうか。
- 現在は軽四を使い買い物に不便は感じませんが、高齢化のため運転免許証更新はしないつもりです。約3年足りず後は不便なるでしょう。Buy Localを進めるため、自転車(含む電動)ロードの整備や歩道の走行可を進めることと、若者への自転車高速走行の禁止を機会あるごとにPRしていただきたいと思ひます。
- 和歌山市に本社があるお店を知らないため具体的に分からなかった。和歌山県でなく市となると、知名度が低くなるように思ふ。
- 設問6.7の和歌山市に本社のあるお店がよくわからない。
- このような時にこそ、地元企業を応援したい。
- よく利用する店が和歌山市に本社がある店などと気にしたことはありません。地元消費を推奨するなら宣伝とクーポンなど人が行きたくなるようなものが必要です。
- 大型店舗の規制、例えば県外に拠点を置くスーパーの規制はできませんか。
- 地場産の野菜は良くみかけますが、魚貝類も売ってほしい。
- 特定のスーパーを利用していますが和歌山の品が多いと思ひます。
- 一つの地域(商店街)や一つの場所(スーパー、ドラッグストア)などで、完結出来るのが理想。ただ一つの地域(商店街)などで買い物をするにあたって、駐車場の問題。スーパーやドラッグストアにない魅力がないと、個人店への足を延ばしての消費は厳しいのではないかと？個人店は大型スーパー等にない魅力づくりをしない限り、今後厳しさを増す一方だと思ひます。
- バイローカルへの意識は多少はあるが、和歌山市に本社がある企業の絶対数が少ない。行政としてもっと積極的に誘致してほしい。
- 和歌山県発祥のスーパーでよく買い物をするが、和歌山市に本店はないと思ひます。和歌山市から見たら、納税地でないのでマズイという事なんでしょうね。率先して和歌山市本店のお店で買い物して欲しいという事なら、ステッカーか何かで掲示してそのお店で買い物したら市のポイントが貯まるというようなシステムがないと買わないと思ふ。
- 有田にある産直市場など、野菜などを安く売る場所を近くに作ってほしい。
- 地元の農産、畜産、漁業のものが購入できるお店がもっと増えれば、地元の産業や生産者も活発化するのではないかと考えます。
- 家から一番近いスーパーが和歌山市本社だとは知らず、安いし便利だから利用していました。産直市場などのお店は地元の新鮮な物が安く買えるのでありがたいです。地産地消だとフードマイレージが低くなるので、地球にも優しいいいことだと思ひます。形の不揃いな野菜も販売しているといいのと思ひます。
- コロナで遠くに行かないので、自然と地元消費になっていると思ふ。県外の人が多くきてるので、であるかないだけだと思ふ。3000円商品券みたいなのをかたよらないようにまたやってほしい。まだやってないけど。
- 地元消費は特に大切に思ひます。これからも私自身が意識を持ち貢献していきたいと思ひています。
- 和歌山市に本社があるお店をあまり知らないことと、知ってるお店は価格が高いためどうしても安い店に行くことになります。
- 地元、産地の商品あるいは海産物のアピール、販売企画の充実、美味しい食材の情報提供など。
- 和歌山市に本社のあるお店？
- 絶対に地元の物とまでは考えないですが、バイローカルの考えはメリットは浮かびますが、デメリットは浮かびません。良い考え方だと思ひます。
- 特に和歌山市内に本社があるという理由で店を選択するのではなく、食料品、日用品などは家に近い店(スーパー)に行く回数が多い。
- せっかく良いお店が地元に来てくても「ここは本社が県外だから」という理由で買わないのは差別になるのではないのでしょうか。生活に便利だから利用する、品ぞろえが豊かだから行く、人が優しいから足を運ぶなど、消費者が行きたくなる正しい動機付けができないと「地元消費！」と叫んでも変わらないと思ひます。
- すごく良いと思ふ。野菜とかはわりと和歌山産が多いので購入しています。
- 和歌山市に魅力的な店舗を誘致してほしい。
- 本社が和歌山市に在る？今まで考えても見なかった。工場がある＝地元産品なりの考えでいました。
- そもそもどのスーパーの本社が和歌山市なのか知らない。地元消費というのも初めて聞いた。和歌山では公共機関に乗る機会が少ないので、必然的に広告などを見かける機会が少ないです。全世帯に広告を入れるのはコスト的に難しいかもしれませんが、スーパーやお店に広告を貼るなどして宣伝して欲しい。
- 地元消費は経済的利益がないと継続できない。直販農家も価格を如何に下げて、魅力ある商品とするかが大切だと思ふ。
- 消費者側としては利便性さえあればどのスーパーとかでも全く問題ないと思ひます。地元本社とかは消費者には関係ないし気にして買い物などはあまりしませんから。
- 問6についてどの会社が和歌山市に本社があるのか分かりません。
- 皆地元を応援したい気持ちは一緒ですが、購入する時に表示がないとわかりにくいです。スーパー等の協力で広告プラス売り場のプレート表示をして、アピールして欲しいです。

- 市に限らず県単位で考えて、地元消費には積極的に取り組みたい。本社がどこかより、その商品がどこから来たかのほうが意識している。
- 巨大なモールよりも近くのお店で安く購入できる仕組みを作っていく。
- そもそもどのお店の本社が和歌山にあるのかわからないです。
- サービスを向上させないとダメです。
- 地元企業は品質、価格共に他の企業より劣っていると感じ、接客なども特に力を入れているように見えず、地元だからと胡座をかいているように感じます。一消費者としてはやはり良いものを安く買える方を選ぶのは仕方ないのではないのでしょうか。企業努力を期待します。
- バイローカルもよいが、世代が進むとネットに代わると思う。あと10年ですべてが変わる。なぜなら ザ昭和世代初期中期が居なくなるから。
- 和歌山市が本社のスーパーはレジ袋が有料なので行きません。特定のスーパーはレジ袋が無料なので、そのスーパーでしか買い物しません。
- 和歌山市に本社がなくても、地元の農家の商品を置いているコーナーがあって、そのスーパーでも新鮮野菜や地元の卵を買うようにしています。
- 個人商店は点在していることが多く利用しづらい。昔のような商店街があれば良いが、ぶらくり丁にしても閉まっているところが多く利用しづらい。あらためて行政の力で、商店街を作っては？
- 和歌山市は大型スーパー、百貨店など少なすぎて買い物したい気持ちにならない。なので大阪で買い物をしています。車有りきの交通手段も問題で、公共交通機関を発達させなければいけないと思う。
- 地元を活性化させる意味でも意識的に取り組んでいる。
- 地元クーポンとかでお得感があれが購買意欲がわくのではないのでしょうか。
- いくら地元消費でも庶民的な価格でないといけません。
- 個人商店の並ぶ地域に住んでいません。なので結局は一箇所で色々揃う大手スーパーに行きます。子育て中ですし仕事もありますし、わざわざ遠出してまでと思います。
- 消費が冷え込んでいる現在において、スーパーや大型店に様変わりしているように思えます。若い方には便利でしょう。歳をいくにつれ広いところでの買い物は非常に疲れます。そういった買い物はネットが便利になっているので、和歌山市の売上には反映しなくなるのではないのでしょうか。以前プレミアム商品券2万円を実施された時のようであれば、和歌山市にお金が行くのではと思います。
- 地産地消は考えるが、地元企業のお店で買おうとは考えていませんでした。
- もともとは家の近所のスーパーで買い物していましたが、キーノ和歌山ができてから職場からの帰り道であるキーノ和歌山で買い物するようになりました。地元のスーパーも入らず、大阪や東京、兵庫のスーパーが入っています。地産地消は意識していますが、そもそも和歌山企業が出店してくれないと選びようがありません。
- 地元のお店の入口などに「地元消費(Buy Local(バイ ローカル))」といったステッカーやポスターを貼ったり旗を立てたり、HPや市報・フリーペーパーなどで公表した方が良い。出来るだけ地元消費できるようにしたいが、お店や味・商品(欲しいものがあるか・品揃えなど)・入りやすさや店内の雰囲気・接客(店長や店員との人県関係・コミュニケーション)など好き嫌いの問題や満足度・購入する必要があるかどうかといった問題などもあると思う。
- 地元消費はなるべく心がけています。
- 昔は家の近くに小売店が多くあり、価格はスーパーより高いが何かと手軽で便利だった。小売店を支援する条例があってもいいと思う。移動販売車もいいと思う。高齢の方は買い物が大変だ。
- 地元のは高い。
- 地産地消と勘違いする。買い物の足があれば別だが、モータリゼーションのせいで県外へ買い物に行くという話をよく聞く。
- 良いものであれば、地元以外でも良いと思います。
- 問6の本社が和歌山市にあるかどうかわかりません。地産地消の推進はわかりませんが、PRのやり方が消費者に上手く伝わっていないように思います。
- もう少し市政もテレビで報道されるようなことではなく、違った意味で全国に誇れるような斬新な地元和歌山で買い物で活性化していけるよう、会社の誘致や道路の整備、信号機の連動方法を考え交通渋滞の緩和、空き地や空き家の有効利用、農家の委託制度など、視点はずれているかもしれませんが、他方面にも視野を広げて早期に活性化を実現して下さい。
- 電動車椅子での移動しても店舗が近くに無い。松江から電車にも乗れない。
- 品揃えや便利さにもよるが、なるべく地元で消費したいと思う。
- 車以外(徒歩、自転車等)で行きやすい道路や店舗の充実が必要だと思います。
- 今まで全く意識をしたことがなかった。これからは、意識をしたい。
- 和歌山市に本社があるお店が近くにありません。
- 和歌山市は食材が新鮮な物を扱っているスーパーが多くて嬉しいが、やはり少し高めのような気がします。それが改善されたらもっと買い物しやすいと思います。
- 初耳でした。和歌山の会社であることをとどどんアピールして、和歌山の住民だけのサービスなどを打ち出してほしいです。

- 安くて良いものなら地元の物を買いたいと思います。
- 地元消費は和歌山市に本社がとか、消費者からして特に関係はないと思います。住まいの場所の問題だと思います。
- 地産地消は心がけていますが、どこのお店が和歌山市本社かわかっていないので、分かりやすくしたらいいと思います。
- コロナ禍の影響で買い物に出る頻度が少なくなっているので、一度にあらゆる物(食品、酒類、洗剤類、衣料品など)が買えるショッピングセンターなどに行ってしまいます。地元の小さな商店で使えるお得な商品券等があれば応援出来るのですが、和歌山市で補助してあげる事は出来ませんか？
- 基本は地元の企業や作り手を応援したいので、地元のものを主に取り扱うお店で購入したいです。
- 地産地消を意識して、野菜は和歌山市内でとれたものを買っています。安いおいしいです。地元の野菜が多いのは、和歌山のスーパーなので必然的に地元のスーパーとあと産直市場で買うことが多いです。
- スーパーの中にも地元農家の野菜が並んでる場合は買うようにしてるので、いつも行くスーパーに地元農家が出してると分かるように、コーナーを設けるなどして欲しいと思う。
- 地元の店にいきたいですが、徒歩圏内にないです。
- あまり意識していない。
- 良い事だとは思いますが、やっぱり大型ショッピングセンターの大手の商品の充実や、子供用のキャラくるカートなどが優れてるのでいってしまう。
- 地元消費ができればそれにこしたことはないが、居住地近くに日常的に利用できる店がない。一番近い店舗がコンビニで車利用でも5分以上かかる。
- 特に気にせず、自分が買いたくて買える金額のものを買うようにしてます。
- 個人的には本社の所在地がどこにあるかという視点では購入場所を決定しない。商品自体の価値とお店のサービス内容によって決めるから。和歌山県の製品を多く取り扱っていくことが、和歌山市の経済活性化にもつながるのではないかと。
- この言葉の意味がまずわかりません。意見を求める前に案内の徹底をお願いします。
- 日常的なものはほぼスーパーでしか買わない。以前は地場資本の店が一番近かったんだが、最近もっと近くに大型の全国資本の店が出来たのでそこばかり使うようになった。車を使わない生活なので近距離優先。
- 和歌山県を地元とは思いますが、和歌山市を特に意識していない。和歌山市に本社があるかどうか知らない。本社の場所を意識して買い物をすることはない。買いたい物が買いたい程度の価格で売られ、サービスがよいなどの店で買う。
- 実家近くは無人市場があり安価ですが、自宅近くにも普及すればいいなと思います。
- 産直市場などに行かないとなかなか地元の商品買えない。和歌山なのに魚が少ない。他府県産が多い。もっと和歌山産を身近に買えるようにしてほしい。
- 地元のスーパーの方が野菜など新鮮でよいものを置いているので買うようにしている。

この度は、アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。皆さまからいただきました。貴重なご意見・ご回答は、本市の地元消費(バイローカル)推進のための参考とさせていただきます。今後とも本市の商工業振興にご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。